



SPIO Newsletter

Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

平成24年4月25日(水)

12

第12号

公益財団法人
国際耳鼻咽喉科学振興会

— ご 挨拶 —

理事長 野村 恭也

公益法人制度改革法案が平成20年12月1日に施行されたことにより、当財団(SPIO)は、平成25年11月30日までの5年間に公益法人の認定を受けるべく準備を進めてきました。

今まで文部科学省から特定公益増進法人の認定を受けておりましたが、これを継続するには公益法人への移行が必須であり、SPIOにとって昨年度の最重要課題でありました。さまざまな難題はありましたが、平成24年3月19日付で内閣府より公益移行認定証明書を受領し、平成24年4月1日登記をもってSPIOは公益財団法人へ移行致しました。詳細につきましては4ページを御覧下さい。

昨年度の大きな事業の1つとして、『東日本大震災被害者及び被害施設のための救援基金』の募集を致しました。多くの方々から暖かいご支援を頂き、下記のとおり救援基金を集めることが出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。東日本大震災により多大なる犠牲、損害を受けた被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興と皆様のご健康を祈念致します。

毎年の事業としては、外国人留学生に対する研究助成を行っておりますが、2年ほど前から留学生の減少傾向が認められており、昨年は東日本大震災、原発事故の影響と思っておりますが、応募者が激減しました。24年度は多数の応募を期待致します。

当財団は、設立以来山あり谷ありの42年でしたが、今まで何とか助成事業を継続して行うことが出来ました。これも皆様のご支援ご協力のお陰であり、ここに御礼申し上げます。新法人に移行致しましても引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

東日本大震災被害者及び被害施設支援のための救援基金(平成23年4月～10月募集)

151件の寄附の申し込みをいただき、寄附金総額は10,630,000円となりました。

寄附金は、その全額を配分し、東北大学、福島県立医科大学、岩手医科大学の耳鼻咽喉科学教室、および松村記念病院へお渡し致しました。

平成23年度事業報告及び収支決算報告

理事会・評議員会終了後の6月に、ホームページを更新しますのでご覧下さい。

賛助費について

平成23年度も多くの賛助費を納入頂き、皆様のご理解とご支援に感謝いたします。今後とも引き続きご協力をお願い申し上げます。〔平成23年度賛助費納入状況 303件 750万円〕

SPIO 出版

SPIOでは皆様の業績集、宿題報告書、退任記念誌等を自費出版する場合に、編集協力をしております。SPIO出版に関心がお有りの方は事務局へお問い合わせ下さい。

鈴木 衛 教授 東京医科大学耳鼻咽喉科学教室業績集「Basic and clinical approach to BPPV based on model experiment results」が24年3月に出版されました。

SPIO クラブ

第113回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、高橋 姿 会長のご好意により会場内にSPIOクラブを設け、SPIOの助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

平成24年5月10日(木)・11日(金)10:00～17:00 朱鷺メッセ 新潟コンベンション2階 Room 202